

令和3年度当初予算について

北海道

令和3年度当初予算の規模

一般会計予算規模 3兆2,530億円

R3

前年度
国補正分
2,028億円

3兆2,530億円

R2

前年度
国補正分
1,560億円

2兆8,201億円

前年比15.4%増

R 3 収支対策と今後の収支不足額

○ R 3 収支対策

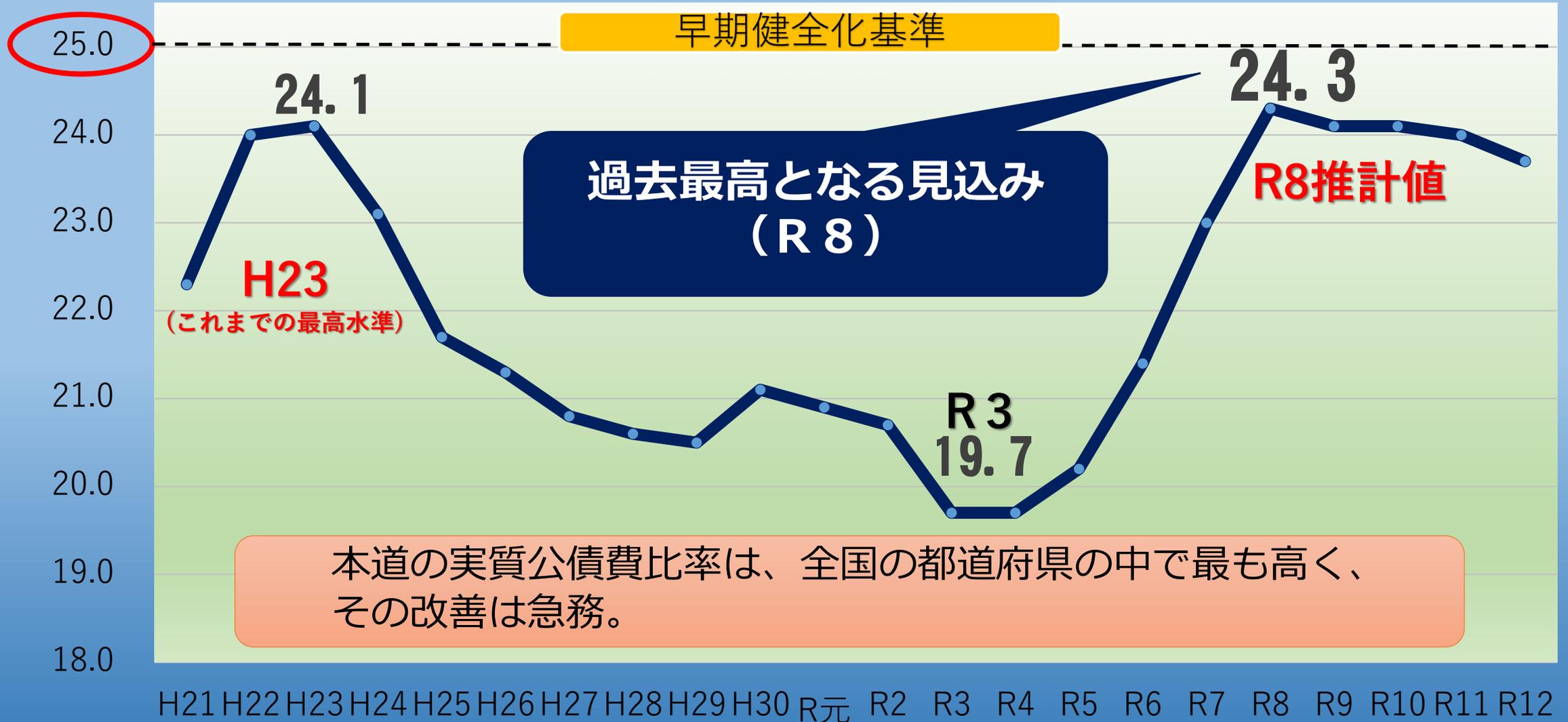
収支不足額	収支対策額	要調整額	追加対策
▲ 370 億円 (A)	260 億円 (B)	▲ 110 億円 (A + B)	財政調整基金の活用

○ 今後の収支不足額

											(億円)
R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
▲ 290	▲ 370	▲ 300	▲ 290	▲ 370	▲ 330	▲ 310	▲ 310	▲ 300	▲ 300	▲ 300	

※ 現時点での機械的な推計であり、令和4年度以降の新型コロナウイルス感染症の影響を的確に見込むことが難しいことから、今後大きく変動する可能性がある。

財政指標の見込み（実質公債費比率）



令和3年度 重点政策の考え方

「命と暮らしを守り、未来を切り拓く」予算

現下の危機克服と感染症に強い地域社会の構築

最優先で実施

ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

ピンチをチャンスに

ハンディを強みに

強みを
成長エンジンに

I. 現下の危機克服と感染症に強い地域社会の構築

最優先で取り組む3つの政策

1 医療提供体制等の充実強化

2 新北海道スタイルの定着促進と
経済への影響対策

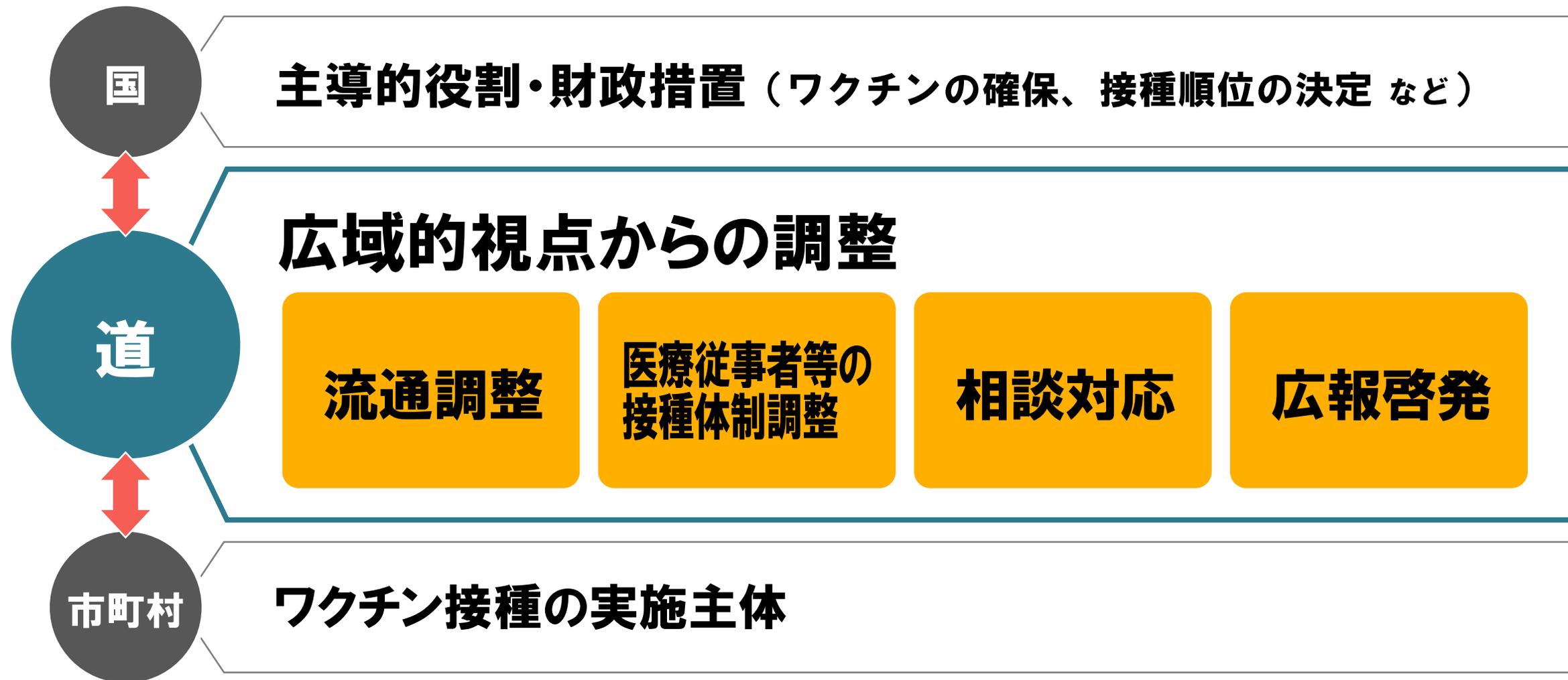
3 学びや生活の安心確保と
道民の健康づくり

現下の危機克服

感染症に強い
地域社会の構築

ワクチン接種体制の整備

予算額：3.1億円



広域的な視点から市町村を支援し、接種体制を着実に整備

検査体制の拡充

予算額：20.7億円

R2

PCR検査センター 12箇所

PCR検査センターの増設

医療機関等の機器整備購入費用を補助

検査体制の
拡充

R3

- ◆ **PCR検査センター 25箇所**
- ◆ **変異株のスクリーニングにも使用できる
PCR検査能力を拡充**

受入病床・宿泊療養施設の確保

予算額：1,429億円



R2

R3.2.1時点

- ・ 受入確保病床 最大1,827床（うち重症者用 161床）
- ・ 宿泊療養施設 全道6圏域に8棟（1,835室）



R3

- 現在の受入体制を年間を通じて確保
+
- 感染拡大の状況に応じ、機動的に対応

保健福祉部に新型コロナウイルス感染症対策監を新設

時短・外出自粛等により影響を受けた事業者への支援

予算額：51億円

	緊急事態宣言発令地域	左記以外の地域
時短要請の対象事業者	時短への協力支援金	時短への協力支援金
時短要請の対象外事業者	売上の減少した 中小事業者への一時金（国）	国による支援制度なし



① 時短対象飲食店との取引がある事業者
② 外出・往来の自粛による影響を受けた事業者

+

売上が対前年比で50%以上減少

法人：20万円

個人：10万円

※制度の詳細は今後明らかになる国の一時金制度の内容等を踏まえ検討

Ⅱ. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

3つの視点と9つの政策

ピンチをチャンスに

ハンデイを強みに

強みを成長エンジンに

- ① デジタル化の推進による「北海道Society5.0」の実現
- ② 多様な主体との連携・協働による**企業や人材の誘致**
- ③ 本道の特性を活かした**カーボンニュートラル**への挑戦
- ④ **アイヌ政策**の推進と**縄文文化**など地域資源の魅力発信
- ⑤ 持続可能な**交通・物流ネットワーク**の形成と**強靱な北海道づくり**
- ⑥ 次代を担う**人づくり**と誰もが能力を発揮できる社会の実現
- ⑦ **域内循環・国内需要の取り込み**と**力強い農林水産業**の確立
- ⑧ **道産食品の輸出拡大**など新たな市場への展開
- ⑨ **徹底した感染防止対策**による**国際大会**の受入れと**インバウンド**の再獲得

地域におけるICT・IoTの実装促進

予算額：3,100万円

地域課題の解決

北海道Society5.0

新産業の創出

地域と企業のマッチング

課題を抱える市町村

農業

観光
交通

生活
福祉

先端技術の提供

民間
企業

フィールドの提供

オープンデータ化
・横展開

【農業】
ドローンの活用



【交通】
自動運転デマンドバス
実証

【生活】
医療へのICT導入



オール北海道による取組の推進

Society5.0推進会議

総合政策部に次世代社会戦略監を新設

リモート教育の推進

予算額：1,300万円

リモート教育の
必要性

小規模校の
分散立地

教員数の制約

教育の
地域格差の是正

これまで

近隣の高校から
遠隔・出張授業を
実施



令和3年度

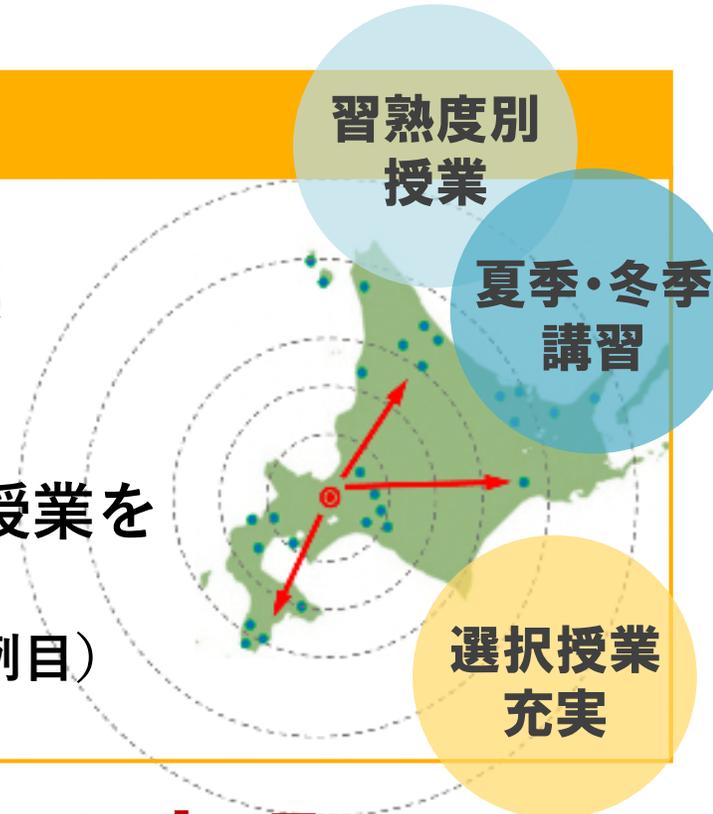
北海道高等学校遠隔授業 配信センターの開設

大学進学に対応した質の高い遠隔授業を
全道27校（全国一の規模）で実施
（センター方式による単位認定は全国2例目）

習熟度別
授業

夏季・冬季
講習

選択授業
充実



デジタル化により分散のハンディを克服

北海道型ワーケーションの推進

予算額：12.7億円

豊かな
自然環境

サテライト
オフィス
開設企業数
日本一

12年連続
魅力度
全国一位

道内市町村の
6割強が
受入に意欲

魅力溢れる
食や観光

Work



+

Vacation



北海道のワーケーションポテンシャルを最大限活用

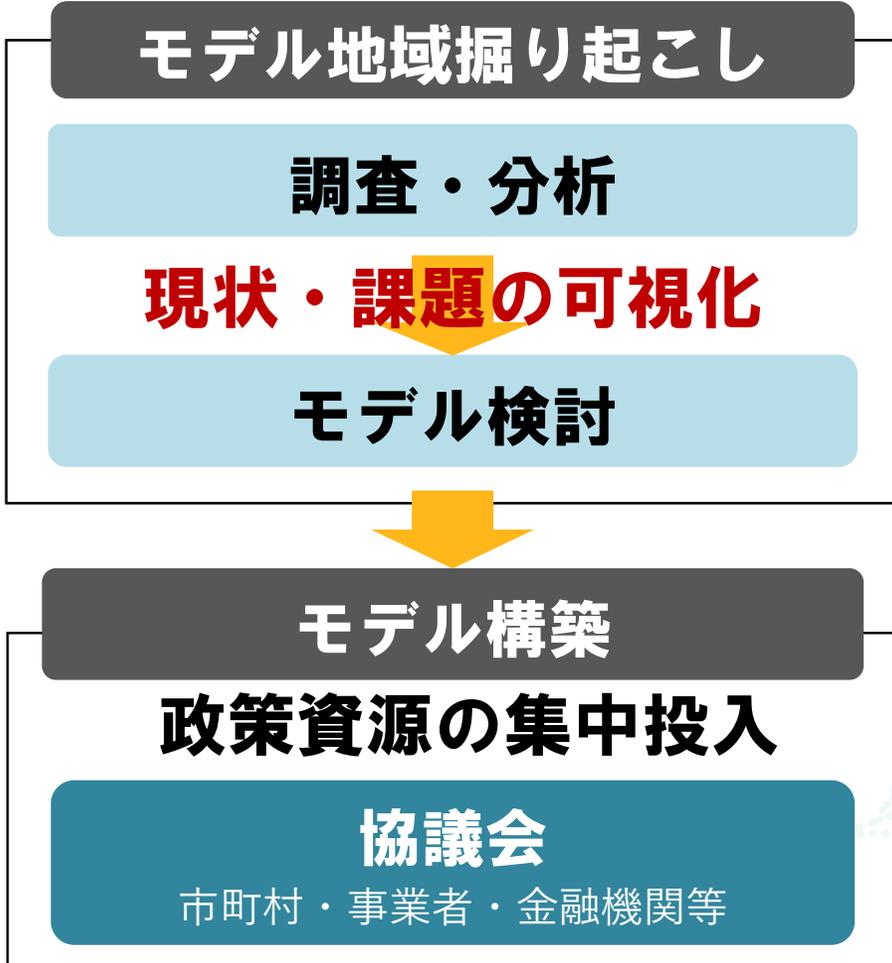
受入環境づくり

コーディネート

プロモーション

脱炭素モデルの創出・普及

予算額：2,300万円



環境生活部にグリーン戦略担当局長を、経済部に省エネ・新エネ促進室を新設し、庁内横断のプロジェクトチームを設置

アンテナショップやネット通販での道産品の割引販売

予算額：7.2億円

実施期間：R3年5月～R4年2月

プレミアム付商品券の発行



利用可能店舗	どさんこプラザ（7店舗）・百貨店（37店舗）
対象商品	道産品
プレミアム率	40%（券面額7千円を5千円で販売）



ネット通販等での割引販売



利用可能サイト	どさんこプラザ・百貨店の通販サイト等
対象商品	道産食品
割引率	30%

巣ごもり需要に対応し、道産品の国内販路を開拓・拡大

感染防止対策を徹底したオリンピック競技の開催

予算額：11.3億円

聖火
リレー

選手
受入

魅力
発信

競技
開催

感染防止対策の徹底

公道や会場での感染防止対策の徹底

感染防止対策マニュアルの策定、選手団、市町村職員等へのスクリーニング検査

イベント等での感染防止対策の徹底

感染防止対策を徹底した競技の開催、関係機関と連携した医療提供体制の構築



取組の成果をレガシーに

感染防止対策の
ノウハウ蓄積

安全・安心な
北海道のPR

多言語化など
外国人対応の強化